第132回 北信越地区高等学校野球大会(平成27年度春季)

開催要項

1	名 称	第 132 回北信越地区高等学校野球大会(平成 27 年度春季)		
2	期 日	平成27年6月6日(土)・7日(日)・8日(月)・9日(火) 4日間 ※雨天等による順延は10日(水)の1日のみとする。		
3	会場	長野オリンピ [*] ックスタシ [*] アム(主会場)長野市篠ノ井東福寺 320 TEL 026-293-4062 県営上田野球場 上田市下之条 354-1 TEL 0268-22-0695		
4	主催	北信越地区高等学校野球連盟		
5	主管	長野県高等学校野球連盟		
6	後援	長野県教育委員会・長野市・上田市・長野市教育委員会・上田市教育委員会		
7	協	信濃毎日新聞社		
8	参加選手資格	平成 27 年度日本高等学校野球連盟選手資格規定による		
9	参 加 校	福井県代表2校・石川県代表2校・富山県代表2校・新潟県代表2校 長野県代表4校 計12校		
10	試 合 球	北信越地区高等学校野球連盟使用球		
11	入 場 料	大人 500 円 高校生 100 円(中学生以下は無料) 引率職員を伴う組織された高校生の応援団 50 円 応援引率職員が正面受付へ申し出て入場券をまとめて購入する		
12	参加申込	5月27日(水)正午までに、所定の参加申込書を提出すること 《提出先》〒390-8602 長野県松本市美須々2-1 松本美須々ヶ丘高等学校内 長野県高等学校野球連盟宛 TEL&FAX 0263-33-3720		
13	組合せ抽選			
13	組合せ抽選 大 会 本 部	長野県高等学校野球連盟宛 TEL&FAX 0263-33-3720 5月28日(木)14:00 長野県松本美須々ヶ丘高等学校内 美須々教育会館にて公正に代理抽選を行うなお、抽選は次の原則に従う ① 開催県のチーム同士は準決勝戦まで対戦しない ② 同一県1位チームと2位チームとは決勝まで対戦しない ③ 不戦勝チームは前年度の春季北信越大会を開催した富山県を除く4県の1位チームとする ④ 開催県1位チームと他県1位チーム校とは1・2回戦で対戦しない		

開会式 6月6日(土) 9:00 長野オリンピックスタジアム 16 開・閉会式 (雨天等によりグランド開催が不可能なときは同球場のスタンドにて行う)

閉会式 6月9日(火) 決勝戦終了後 長野ポリンピックスタシェアム

福井県・石川県・富山県・新潟県より各2名、長野県より12名の計20名で 17 審 判 委 員

構成する。

18 経 費 出場チームの旅費・宿泊費は全額チーム負担とする。

宿泊費は、1泊2食 8,000円(税別)昼食代は別会計とする。

なお、審判委員の宿泊費については長野県高等学校野球連盟が負担する

19 組 合 せ

オリ:長野オリンピックスタシブスム 上田:県営上田野球場 番号の若い方が1塁側 9日 オリ 10:00 8日 8日 オリ オリ 10:00 12:30 7日 7日 7日 7日 6日 6日 6日 6日 5 10 11 12

※6月6,7日の球場・時間については、抽選後決定する。

20 公式球場練習割り当て(初戦出場球場のみ)

	練習時間	長野オリンピックスタジアム	県営上田野球場
	9:00~10:00	長野県○○高校	長野県△△高校
	10:00~11:00	長野県◇◇高校	長野県□□高校
6月5日(金)	11:00~12:00		
0月5日(並)	12:00~13:00		
	13:00~14:00		
	14:00~15:00		

※5月28日(木)16:00までに、各県連盟事務局と出場校に抽選結果と球場使用割当をFAX等で連絡する。

22 試合中の紛争処理

試合中紛争が生じた場合は、その試合担当の審判委員と球場責任審判が全責任をもって処理する。

23 試合に関する諸規定

- ① 試合規則は、2015年度公認野球規則、ならびに定められた高校野球特別規則による。
- ② シートノックは原則として7分間。ただし、試合の進行が遅れた場合等は時間を短縮するか省略することもある。なお、シートノック時に練習補助員(生徒に限る)の参加を5名まで認める。補助員はメルメットを着用し、ノックを受けることは認めない。ただし、1塁および外野フィールド内(外野フェンス側)において、野手からの送球を捕球しても良い。ノック終了後、速やかに退場すること。シートノック中、相手チームはグラウンド内でキャッチボール等をしてはならない。
- ③ トスバッティングは、シートノック開始前なら外野フィールド内で行なってもよい。
- ④ ダッグアウトの中は、責任教師、監督、記録員各1名と登録選手18名、計21名とする。 なお、記録員の服装は自校の制服または運動着、背番号のないユニフォームとする。
- ⑤ ノッカーが監督、責任教師以外の場合は、大会本部に届け出ること。また、ノッカーの服装は自校のユニフォームとする。
- ⑥ 点差によるコールドゲームは、5回以降10点差、7回以降7点差とする。ただし、決勝戦には適用しない。また、降雨・日没によるコールドゲームは7回終了以降に適用する。
- ⑦ 延長戦については、選手の健康管理を考慮し、高校野球特別規則の「タイブレーク制度」(延長戦を 12 回まで行い、13 回よりタイブレーク制度)を適用する。 ただし、決勝戦は延長戦を 15 回まで行い、同点の場合は両校を優勝とする。なお、延長戦中に降 雨等により試合の続行が不可能なときも両校を優勝とする。
- ⑧ 選手は、参加申込書で登録したとおりの背番号をつけること。
- ⑨ アピールは主将、当該選手および伝令に限る。ただし、審判委員のジャッジには抗議できない。
- ⑩ ベンチ内でのメガホンの使用は、責任教師・監督に限る。
- ① 対戦する両チームの責任教師と主将は、第1試合の場合には試合開始予定時刻の40分前、第2試合以降の場合には、試合開始予定時刻の1時間前に所定のメンバー用紙にオーダーを記入の上、指示された場所に集合すること。メンバー表には、参加申込書の登録選手をすべて記入し、氏名にはふりがなを、同姓の選手がいる場合は背番号のところに下線をつけること。この際、責任教師は主将と応援団引率責任教師を伴って来ること。
- ② 責任教師・監督・選手の変更は、所定の用紙に記入し、代表者会議が始まるまでに大会本部まで届け出ること。
- ③ 試合終了後、勝利校の校旗掲揚を行う。

24 応 援

- ① 生徒応援団やブラスバンドは所定の席で応援し、座席の上に乗ったり、フェンスに寄りかかって の応援は絶対にしないこと。また、生徒の応援には必ず引率教諭がつき、高校生にふさわしい応 援をすること。
- ② ブラスバンド以外の鳴り物は禁止する。ただし、応援団の太鼓(和太鼓は使用禁止、ブラスバンド演奏の太鼓は数に入れない)は1つだけ認める。なお、ブラスバンドや太鼓による応援は試合の前後と自チームの攻撃時とし、相手チームの攻撃時は自粛すること。

- ③ 相手選手や審判委員に対する野次は厳に慎むこと。
- ④ グラウンド内に入ったり、紙吹雪、紙テープ、その他いかなる物も投げ入れたりしないこと。また、球場の美化に心掛け、応援席を立ち去る時は紙屑・空缶などを片づけるようにすること。
- ⑤ 笛の使用は一切禁止とする。

25 そ の 他

- ① 各県連盟事務局は、代表校決定次第、県大会の成績(準々決勝以降のトーナメント表にスコアを 記入)と宿泊する各県連盟役員・審判委員の氏名を主管連盟事務局へ報告すること。また、代表 校の校旗・校歌を代表者会議までに提出すること。
- ② 出場校は必ず学校長が定める責任教師が引率し、大会中の選手の全ての行動ならびに応援に対し 責任を負うものとする。
- ③ 試合中に起こった不慮の事故に対しては、応急手当以外、主催者は一切その責任を負わない。
- ④ 大会前の球場練習においては、全員ユニフォームを着用していること。(Tシャツ等は不可)
- ⑤ 開会式には、各チームとも8:40までに全員ユニフォームを着用して、ライト側入り口に集合すること。なお、各県優勝校は県大会優勝旗を持参すること。また、出場校のうち各県優勝校 は副主将、その他のチームは主将が校旗を持って行進すること。(旗のポールは主管県で準備する)
- ⑥ 前回優勝の敦賀気比高校(福井県)は、開会式で優勝旗・優勝杯を返還すること。なお、同校が 代表校にならなかった場合は、返還に参加する野球部責任教師・主将・他選手1名(計3名)に 旅費を支給する。
- ⑦ 開会式の選手宣誓は、長野県代表が行なう。
- ⑧ 試合中、バックネット裏観客席におけるVTR・写真撮影、スピードガン使用は禁止とする。